



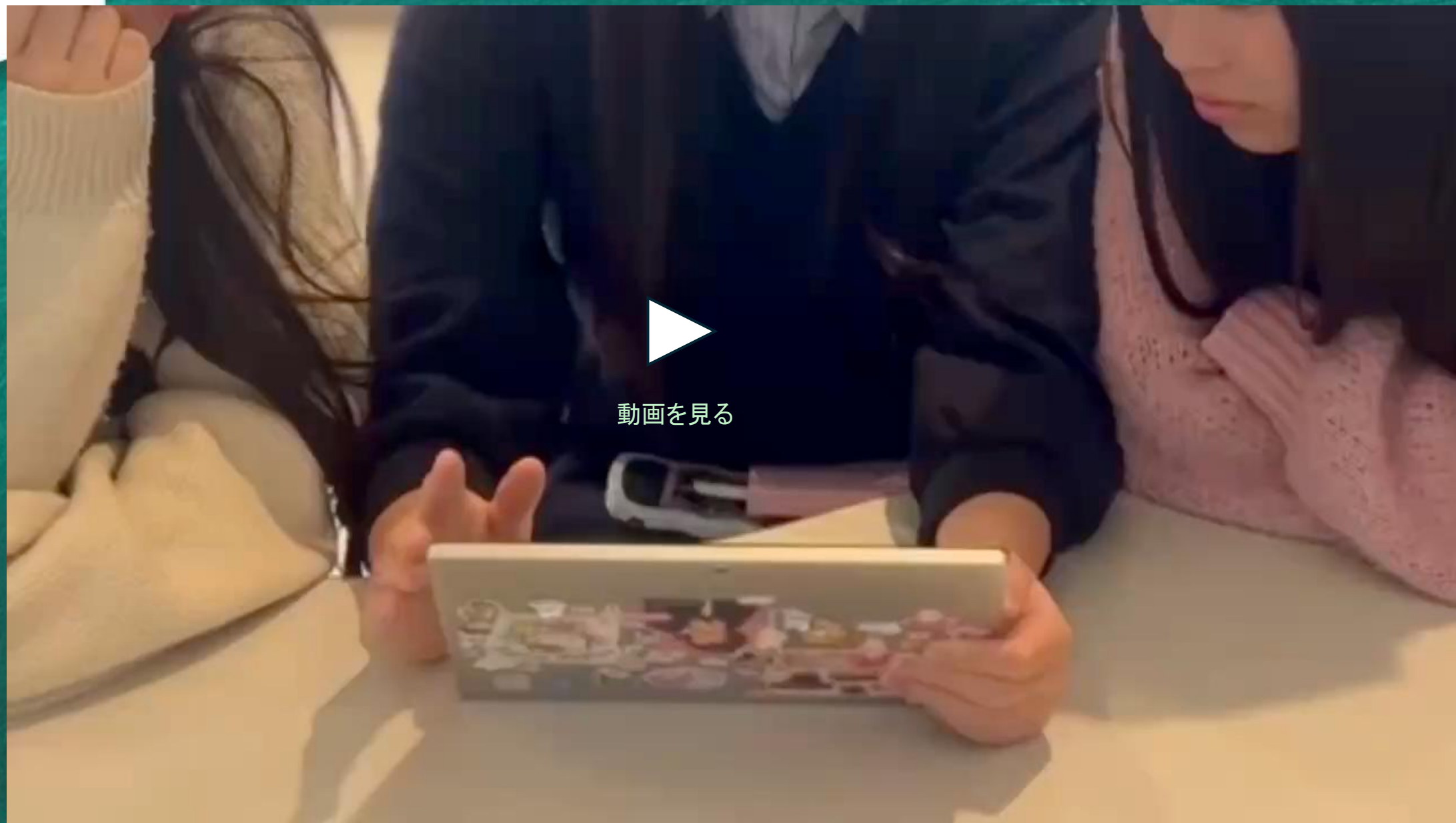
ひょうご高校生 環境・未来リーダー育成プロジェクト



学びを循環させる 新しい環境教育



荒谷、福中、林、松山





日本の現状

- ・授業は「聞く」が中心の受け身型
- ・教科横断が理想だが、現場では浸透が不十分
- ・環境問題の「認知」は上がっている
- ・しかし「考える・行動する」まで届いていない

なんとなく知ってるけど、知識をつなげる機会がない



海外比較①ドイツ



- ・小学生からの環境教育
- ・森の学校・ビオトープで自然体験
- ・教科を横断したテーマ学習
- ・プロジェクトウィークなど探究活動の実施
- ・地域施設と連携した学びやイベント

環境を「生活の中」で学ぶ



Borcelle
School

海外比較②スウェーデン



- ・自然体験で五感と主体性を育てる
- ・「森のムツレ教室」などで主体的な思考力を育成
- ・学校・自治体・企業・NGOが連携
- ・小学生からSDGsを体験と議論で学ぶ
- ・国民の環境意識が高い

学びと社会がつながっている



日本の課題



- ・行動に変わる人が少ない
- ・主体的に学ぶ場が少ない
- ・体験と実践がつながっていない
- ・学校と地域・社会の連携が弱い



日本の課題



「知る」だけで終わらず、
「考え、動く」教育が必要



提案

「循環型プロジェクト」

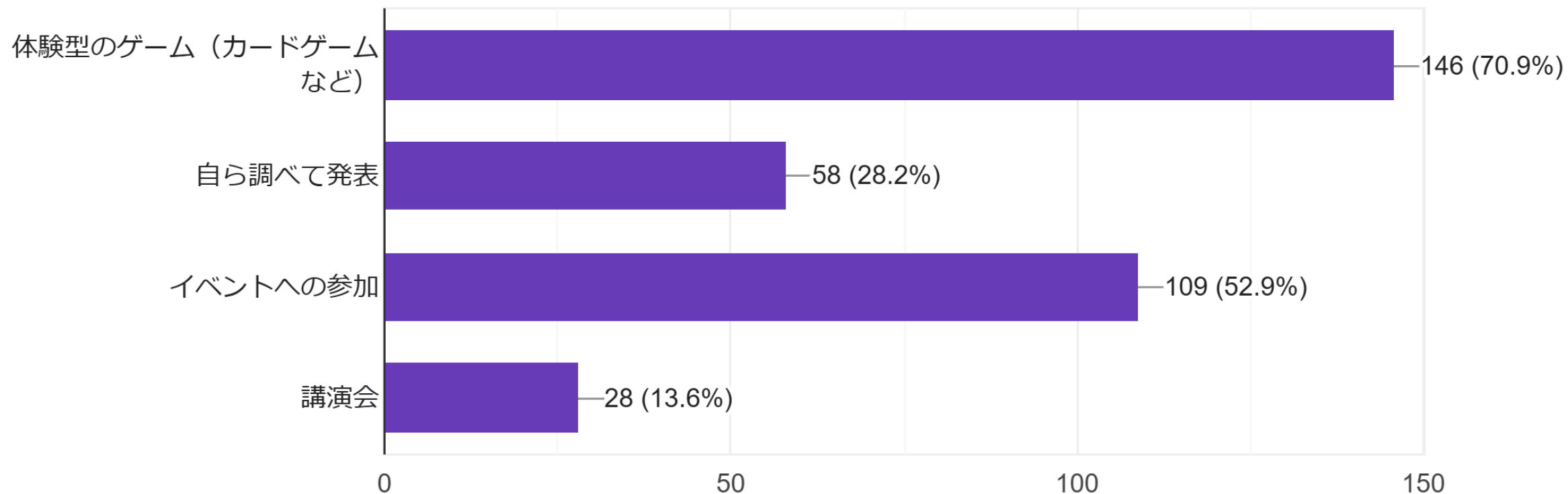
世代をつなぐ環境教育

— 学びが回る、未来が動く —



どんな環境教育であれば意欲的に学びたいと思いますか。

206 responses





提案

● 高校生が体験型学習で主体的に環境を学び、
その学びを小中学生に伝えるプロジェクト。
環境問題を“自分ごと”にしていく。





学ぶ

高校生が体験型学習で環境を知る

つなげる

行動・気づき・次の学びへ

深める

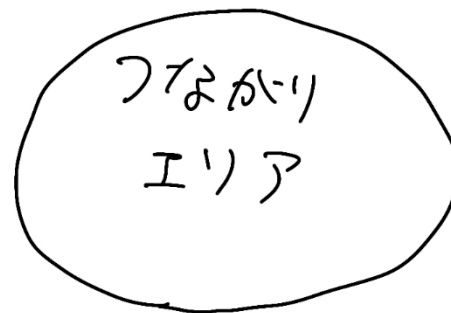
話し合い・調査で理解する

伝える

小中学生に発表・ワークショップ



質問コーナー



小中学生の環境イベント

高校生が開催する！





● **体験** から学ぶから、記憶に残る

● 教えることで、学びが **深まる**

● 学びが **次の世代へ** つながる

● 環境問題を **自分ごと** に変える教育



教育にもっと力を。

学び方が変われば、
未来は変えられる